

短大特任教員教育研究業績書

平成 30年 4月 1日

| | | | | |
|-------|----------|----------------|--------------|-----|
| 氏名 | ふりがな | 所属 | 職 位 | 性別 |
| 杉中 拓央 | すぎなか たくお | 保育学科 通信教育課程 | 教授・准教授・講師・助教 | 男・女 |

担当科目名

教育相談

学 歴

| 和暦(西暦)年 月 | 事 項 | 学位 |
|-----------|--|----------|
| 2012年3月 | 早稲田大学大学院人間科学研究科人間科学専攻修士課程修了 | 修士(人間科学) |
| 2015年3月 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科障害科学専攻博士後期課程単位 取得退学 | |

教育歴・職歴

| 名 称 | 期 間 | 教育内容又は業務内容 |
|------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 早稲田大学教務補助員 | 2010年4月 ～2012年3月 | 「障害者福祉論」「バリアフリー環境論」の講義を補助。 |
| 国立特別支援教育総合研究所研究支援員 | 2012年4月 ～2013年3月 | 「特別支援学校におけるキャリア教育」の調査と推進にかかわる研究等に従事。 |
| 日本学術振興会特別研究員(筑波大学) | 2013年4月 ～2015年3月 | 「高等教育機関における聴覚障害学生の支援に関する研究」等に従事。 |
| 早稲田大学助手 | 2015年4月 ～2018年3月 | 人間科学学術院の諸校務に従事。生活支援技術研究室の運営に従事。 |
| 早稲田大学招聘研究員 | 2018年4月より現在 | 健康福祉学研究室の研究支援に従事。 |
| 早稲田大学eスクール教育コーチ(非常勤相当) | 2010年4月～2015年3月 2018年4月より現在 | 「ホームルーム」「加齢人間工学」を担当。 |
| 小田原短期大学 | 2018年4月より現在 | 保育学科通信教育課程 講師。「教育相談」を担当。 |

所 属 学 会 等

| 名 称 | 活動期間 | 活動内容(役職等の活動を含む) |
|---------------------------------|-------|-----------------|
| 日本生活支援工学会 | 現在に至る | 会員 |
| 日本特殊教育学会 | | |
| 日本聴覚言語障害学会 | | |
| 日本発達障害学会 | | |
| 障害科学学会 | | |
| 日本コミュニケーション障害学会 | | |
| 日本聴覚医学会 | | |
| Asian Society of Human Services | | |

社 会 活 動 等

| 名 称 | 活動期間 | 活 動 内 容 |
|----------------------------------|-------------|---|
| 国立特別支援教育総合研究所キャリア教育推進者研究協議会 事務局員 | 2012年～2013年 | キャリア教育推進者研究協議会の運営と、関連研究の推進を担当。 |
| 東京都小学校研究会講師 | 2013年 | 難聴学級にてキャリア教育に関する講師を担当。 |
| 東京都中学校研究会講師 | 2014年 | 難聴・言語障害学級にてキャリア教育に関する講師を担当。 |
| 東京医科大学病院サマーセミナー講師 | 2015年 | 子ども・親・医療関係者等を対象として、情報支援(情報保障)とキャリア発達についてレクチャーを担当。 |

| 担当教科目に関する資格・免許等 | | | | |
|--|-------------------|------------------|-----------------------|---|
| 名称 | 取得年月 | 取得機関 | | |
| eLPBasic eLC-certified e-Learning Professional | 2015年10月 | 日本eラーニングコンソーシアム | | |
| 研究実績に関する事項 | | | | |
| 代表的な著書、論文等の名称 | 単著 共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称 | 概要 |
| (著書) 1. キャリア発達支援研究Ⅰーキャリア発達支援の理論と実践の融合を目指して | 共著 | 2014年12月 | ジアース教育新社 | 概要： キャリア教育の現状を、キャリア心理学の理論を引きながら概観した。続いて、聴覚障害学生のキャリア発達の支援を目的とした、実践研究の取り組みを紹介した。(90-96頁) 著者： キャリア発達支援研究会編菊地一文・菊池武剋・渡辺三枝子・尾崎祐三・森脇勤・木村宣孝・杉中拓央他 |
| 2. キャリア発達支援研究Ⅱーキャリア発達を支援する教育の意義と共生社会の形成に向けた展望 | 共著 | 2015年12月 | ジアース教育新社 | 概要： ポストモダン・アプローチと称される近年のキャリア心理学の理論を概観し、障害を有する児童生徒のキャリア発達を適切に評価するための方法論を、特別支援学校の現場に援用できるよう具体的に述べた。(98-104頁) 著者： キャリア発達支援研究会編菊地一文・木村宣孝・森脇勤・尾崎祐三・松為信雄・大崎博史・杉中拓央他 |
| (学術論文) 1. 高等教育場面における聴覚障害学生の修学上の困難さと個人要因との関連 | 共著 | 2016年4月 | 聴覚言語障害 45 巻 1号 | 概要： 聴覚障害学生個人の聴力や教育歴、コミュニケーションの手段等はさまざまであり、心理的困難がどのような背景をもつ聴覚障害学生において生じやすいか同定する必要がある。そこで本研究では質問紙調査を行い、多変量解析をとおしてその表象を探った。その結果「対人関係を中心とした困難」と「講義理解を中心とした困難」に分化が認められ、それぞれの困難を有しやすい聴覚障害学生の個人要因が明らかとなった。11-21頁(10頁) 著者： 杉中拓央・原島恒夫 |
| 2. 人工内耳を装用する聴覚障害生徒の職業興味に関する検討 | 共著 | 2017年4月 | Audiology Japan 60巻2号 | 概要： 人工内耳装用の聴覚障害生徒を対象として、キャリア心理学者 Holland の職業選択理論を背景とする VRT 検査と、半構造化面接を組み合わせた混合法を用いることで、彼らの将来展望、職業興味について表象を得ることを目的とした。人工内耳装用生徒の職業興味は、聴者の標準化データと比較して、慣習的領域に対して支持が高く、企業的領域に対して支持が低かった。129-135頁(6頁) 著者： 杉中拓央・齋藤友介・白井杏湖・富澤文子・野波尚子・河野淳・塚原清彰 |
| (その他) 1. 競争的資金 | 科研費 4件 民間助成 1件 | | | 2013年特別研究員奨励費、2015年度研究活動スタート支援、2016年若手研究B、2018年若手研究 2015年笹川科学研究助成 |
| その他 (表彰等) | 2013-2015年 | 筑波大学特別授業料免除 (全免) | | |